

PATRICIA KOPATCHINSKAJA

パトリツィア・コパチンスカヤ & カメラータ・ベルン

& CAMERATA BERN

チケット情報

2公演セット券

全席指定

限定150セット販売

クラブ同時入会可

料金 [通常価格 24,000円のところ]

トッパンホールクラブゴールド会員 18,240円

トッパンホールクラブレギュラー会員／一般 20,640円

単券

日時

第1夜 2024.12/7_[土] 17:00

第2夜 2024.12/9_[月] 19:00

料金

一般
12,000円

U-25
6,000円

主催：トッパンホール 特別協賛：in 鹿島建設

協賛：タマポリ株式会社／株式会社トータルメディア開発研究所
株式会社トッパン・コスモ／凸版物流株式会社／株式会社BookLive／株式会社フレーベル館

トッパンホールWEBチケット www.toppanhall.com
トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。

*U-25券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。

*未就学児のご入場はお断りいたします。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com

「あした」は、ナニイロ？

鹿島のしごと。

それは「あした」をつくること。

人と自然と向き合って、

よりよい毎日をつないでいくこと。

暮らしを描く、ものづくり。

無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。

100年をつくる会社
in 鹿島

コパチンスカヤ表面写真／カメラータ・ベルン写真©Julia Wesely コパチンスカヤ中面写真©Marco Borggreve
当チラシに掲載している写真について、許可なく複製あるいは転用することを固く禁じます。 ©TOPPAN HALL 2024.9 K II



PATRICIA KOPATCHINSKAJA

パトリツィア・コパチンスカヤ & カメラータ・ベルン

& CAMERATA BERN

第1夜

2024.12/7_[土] 17:00

Saturday, 7 December 2024 17:00

死と乙女

第2夜

2024.12/9_[月] 19:00

Monday, 9 December 2024 19:00

ベルンより愛をこめて



カオス？ それとも再創造？ 盟友カメラータ・ベルンと挑む、異才コパチンスカヤ 圧巻のステージ!!

溢れんばかりの才気と圧巻のステージ・パフォーマンスで毎回私たちを未聴の世界へと誘う異才、パトリツィア・コパチンスカヤ。2023年春もトッパンホールでのヨーナス・アホネンとのデュオと都響とのリゲティ、2つのコンサートで鮮烈な印象を残しましたが、今回は手兵とも同志ともいべきカメラータ・ベルンを率いての来日が遂に実現します。この企画は、5年前に彼女と直接話し合って生まれたもので、当初計画していた22年の韓国、中国との合同公演はパンデミックの混乱で延期となり、今回はトッパンが中心となって国内公演地を準備し招聘に至りました。カメラータ・ベルンの来日は、ハインツ・ホリガーに率いられての1974年以来、2度目とのこと。コパチンスカヤとカメラータ・ベルンのパートナーシップは、実に2013年に遡り、2018/19シーズンからは、アーティストック・パートナーという称号で、まさに彼らにしかできない緊密かつ独特な活動を展開中です。

12月7日の〈死と乙女〉は、シューベルトの弦楽四重奏曲をコパチンスカヤがヴァイオリン独奏と弦楽オケのために編曲したヴァージョンを用い、各楽章の間には、シューベルトのオリジナルの歌曲〈死と乙女〉をはじめとする16世紀から現代にわたる様々な作品を挿入しての60分のライヴ・パフォーマンス。

スイスに詳しい方ならピンとくるかもしれませんが、ベルンの有名なビールの名を冠した12月9日の〈ベルンより愛をこめて〉は、今回のトッパンオリジナルプログラムにちなんでコパチンスカヤのお嬢さんが命名したもの。62年の歴史を持つスイスの名門チェンバー・オケであるカメラータ・ベルンは、これまで同時代の作曲家に数々の委嘱を行ってきたことでも知られ、本公演は、そのうちの2つを、コダーイ、バルトークという民族色豊かな曲とともに紹介します。また、有名な木短調ではない、もう1つのメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲にも注目。本曲は、クレーメルも好んで演奏するなど、通、鬼才好みの作品。ようやく再評価の注目集まるメンデルスゾーンだけに、いませひコパチンスカヤの演奏で耳にしていきたいと思います。

創意が迸るコパチンスカヤの一手一投足に、カメラータ・ベルンが分身のように反応し躍動する様は、「21世紀は室内楽とチェンバー・オケ時代」と思って様々な企画を創り、また紹介してきた私にとっても待望の公演。現代のチェンバー・オケのおもしろさをホールいっぱいに照射することでしょう。

プログラミング・ディレクター 西巻正史

第1夜 死と乙女 Der Tod und das Mädchen

*休憩なし約1時間

ネルミガー：死の舞踏
Augustus Nörmiger (arr. Wiancko): Toden Tanz

作曲者不詳：ビザンティン聖歌 詩篇140篇
Anonymus (arr. Kopatchinskaja): Byzantine chant on Psalm 140

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810《死と乙女》第1楽章
Schubert (arr. Kopatchinskaja): 1.Satz aus Streichquartett Nr.14 d-Moll D810

シューベルト：死と乙女 D531
Schubert (arr. Wiancko): Der Tod und das Mädchen D531

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810《死と乙女》第2楽章
Schubert (arr. Kopatchinskaja): 2.Satz aus Streichquartett Nr.14 d-Moll D810

ジェズアルド：《マドリガール集第6巻》より〈わたしは死ぬ、わたしの悲運ゆえに〉
Carlo Gesualdo: 'Moro, lasso, al mio duolo' per "Madrigali a 5, Libro 6"

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810《死と乙女》第3楽章
Schubert (arr. Kopatchinskaja): 3.Satz aus Streichquartett Nr.14 d-Moll D810

クルターク：リガトゥーラーフランセス=マリーへのメッセージ
（答えない問いかけへの答え）Op.31b
Kurtág: Ligatura-Message to Frances-Marie (The Answered Unanswered Question) Op.31b

クルターク：《カフカ断章》Op.24 より〈休みなく〉
Kurtág: 'Ruhelos' from "Kafka-Fragmente" Op.24

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810《死と乙女》第4楽章
Schubert (arr. Kopatchinskaja): 4.Satz aus Streichquartett Nr.14 d-Moll D810

第2夜 ベルンより愛をこめて Berner Müntschi

コダーイ：マロシュセーク舞曲
Kodály (arr. Veress): Marosszéker Tánze

G.ブルナー：弦楽アンサンブルのための情景 II (2022)
Gabrielle Brunner: Szene II for String Ensemble
(Commissioned by Camerata Bern / Japan premiere)

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調
Mendelssohn: Konzert für Violine und Streicher d-Moll

ヴェレシュ：ムジカ・コンチェルタンテ
Veress: Musica Concertante for 12 Strings
(Dedicated to Camerata Bern)

バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 Sz68
Bartók: Romanian Folk Dances Sz68

